

# ふじおか義英県議会だより

一般質問では能登半島地震を教訓として、「住まい」をテーマに質問・提案しました



## 避難所への物資の備蓄

大地震により集落ごとに孤立化する可能性が高いことから避難所全てに必要な物資を備蓄すべき。

## 二次避難所の対策

石川県では食事を提供できない二次避難所が問題となっている。県内の確保状況の現状と対策は。

## 県産材を活用した仮設住宅

熊本地震で建設された木造仮設住宅は住み

心地も良く利活用・移築もでき、トータルコストも安く評価されている。県産材を活用した仮設住宅、「長野モデル」を普段から資材を確保し対応できるようにすべき。

## インスタントハウスなどの普及・促進

被災地で有用性が確認されている、インスタントハウス、トレーラーハウス、ムービングハウス、トイレトレーラー等の普及・促進について、購入を進め災害時に備えるべき。

## 耐震化改修支援事業の拡充を歓迎

県内住宅の耐震化の加速化が必要であり、これまで党県議団も繰り返し個人住宅の耐震改修を進めるためのさらなる予算確保と、補助限度額の引上げを求めてきました。

## ゼロカーボン実現へ住宅の高断熱化の推進を

欧米では「断熱等級6」未満の新築住宅は違法建築だと厳しい基準を設けています。一方、日本は省エネ対策で非常に遅れています。欧米基準の「断熱等級6・7」レベルの普及啓発を急ぐべきだと求めました。また事業費のさらなる増額を求めました。

### 断熱等級とは

「断熱等性能等級」は、住宅の断熱性能を示します。国土交通省の「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」で設けられました。等級は1～7の7段階あり、数字が大きいほど断熱性が高くなります。

日本の住宅の約90%が「断熱等級3」以下で対策は急務。しかし政府が25年4月から義務づけている省エネ基準は、「断熱等級4」です。

### ZEH住宅とは

ZEH(ゼッチ)は「net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略です。家庭で使用する年間の消費エネルギー量をゼロ以下にする住宅を意味します。

断熱と省エネによりエネルギーの消費を極力抑えつつ、消費エネルギーを上回るエネルギーを創エネでつくり出す住宅です。ちなみにZEH住宅の断熱等級は「5」です。

### 危機管理 建設委員会



#### 桜井地区の遊水地計画

期限を設けずに慎重に合意形成をつくりながら、建設に向かうというスタンスで変わらないのか、建設部長に確認。

#### 国道141号浅蓼大橋の 工事の進捗状況について

国道141号・浅蓼大橋4車線化工事について、令和6年も予算化され進められる予定なのかを確認。

#### 浅川の内水対策について質問

2020年に策定された浅川治水計画では、床下浸水は免れないことを前提にしており、不安の声が出されている。地域との議論を継続的に行うように要望。

#### 中部横断自動車道の未整備区間

中部横断道未着工区間の公聴会で、国立天文台野辺山宇宙電波観測所長を始め地権者、農畜産業者から不安の声が出された。その声を受けとめ、不安解消のために誠実に対応を要望。

#### 耐震化について

制度の拡充を評価しつつ、耐震改修の安価な工法について リフォーム業者や工務店への普及促進の対策について質問。



能登半島地震の被災地へ支援活動・現地視察に行ってきました 輪島朝市の火災現場にて(3月16日)



JA長野中央会と懇談(2月2日)

